

# 謹賀新年

江別市長  
後藤 好人

Goto  
Yoshihito



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、ご家族とともに健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、市政各般に深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

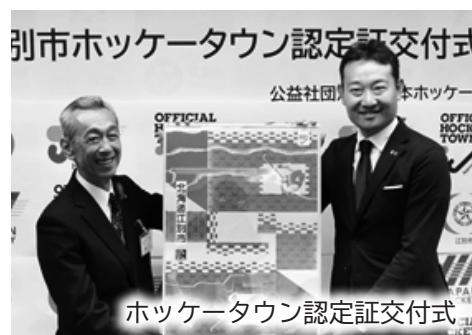
振り返りますと、昨年は米国の通商政策などの影響による世界的な経済の変動や、食料品を始めとした物価の高騰、夏の記録的な猛暑などが、市民生活や地域経済にさまざまな影響を及ぼした1年でした。そして、社会のさまざまな分野で人工知能の活用が急速に進むなど、デジタル化が一層進展した年でもあります。当市でも、市民サービスの更なる向上と窓口業務の効率化のため、3月に情報図書館で本のセルフ貸出機を導入したほか、10月には本庁舎の戸籍住民課や大麻出張所などの証明交付窓口でキャッシュレス決済を導入しました。

7月には、多様な就労相談を受け付け、一人一人の状況に合わせた就労支援を行ったため、市内各所で開設していた4つの就労相談窓口を1カ所に集約した総合的な就労相談

窓口「ワークサポートえべつ」を開設しました。

スポーツ関連では、道内唯一の日本ホッケー協会公認のホッケー場がNOPPORO YASHIMA商會スポーツパークにあり、道内のホッケー競技の活動の拠点となっていることから、当市が「公式ホッケータウン」に認定されました。

また、北海道日本ハムファイターズが、ファーム施設の道内移転構想を発表したことを受け、当市としてもプロジェクトチームを立ち上げ、誘致に向けた取り組みを開始しました。11月に開催された東京2025デフリンピックでは、バスケットボール男子に江別ワイルドボアーズ所属の手塚清貴選手が出場されたほか、卓球女子団体では当市在住の



木村亜美選手が銀メダルを獲得、バレーボール女子では北翔大学を卒業された石原美海選手が金メダルを獲得するなど、当市に縁のある選手が活躍し、多くの市民に感動と勇気を与えていただきました。

脱炭素社会の実現に向けた取り組みとしましては、当市が目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、市内事業所から排出される温室効果ガスの削減を図ることを目指として、当市と株式会社北洋銀行、株式会社Sustechの三者で連携協定を締結しました。

本年は、まちづくりの指針である「えべつ未来づくりビジョン」第7次江別市総合計画の3年目を迎えます。さらなる飛躍を目指し、これまで

取り組んできた人口減少対策をはじめとする重要な課題への対応を加速させ、将来都市像である「幸せが未来へつなぐまちえべつ」を目指して、未来に誇れるまちづくりに努めてまいります。また、「江別市子どもが主役のまち宣言」の理念に基づき、全ての子どもが、健やかに育ち、学び、笑顔で暮らせるよう、子どもたちの気持ちや権利を尊重しながら、子どもにやさしいまちづくりを進めてまいります。

市立病院では、現在見直しを進めている「江別市立病院経営強化プラン」に基づき、地域医療提供体制を確保しつつ、より一層の経営強化を図ります。

新しい年も、市民の皆さまと力を合わせ、子育て・教育環境の充実や、地域経済の活性化、ゼロカーボンシティ、デジタル化の推進に向けた取り組みなどを着実に進め、まちの魅力を高めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

新たな年が市民の皆さまにとって笑顔あふれる1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



江別市議会議長  
野村 尚志

Nomura  
Hisashi

# 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには日頃より市議会の活動に対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年6月、議会は議員任期の折り返しを迎え、議長と副議長が交代したほか、委員会構成も変わり、新体制の下、気持ちも新たに議会活動に取り組んでおります。

また、本年4月には、生活福祉常任委員会と経済建設常任委員会の所管を見直し、それに合わせた委員会名称の変更も予定しており、引き続き、より効果的かつ効率的な議会運営を目指して努力してまいります。

さて、全国的には、深刻な少子高齢化が進んでおりますが、当市は、昨年まで7年連続で、14歳以下の年少人口の転入超過数が全国20位以内に入ることができました。これは近年、市内において一定程度の宅地造成が進められ、子育て世帯の転入が増えていることや、これまで市が進めてきた、充実した子育て施策が身を結んだものと考えております。

今後、江別市にも本格的な

少子高齢化や人口減少の波が押し寄せてくることが想定されますが、第7次江別市総合計画に掲げる将来都市像「幸せが未来へつづくまち えべつ」の実現のため、計画3年目を迎える本年も、引き続き議会としてしっかりと各事業の進捗状況をチェックしてまいります。

ここ数年、市民生活に影響を及ぼし続けている物価の高騰は深刻さを増しておりますが、議会では定例会や臨時会の中で、物価高騰の影響を強く受ける住民税非課税世帯などに対する給付金や、食材費などの高騰の影響を受ける学校給食原材料費高騰対策事業などの予算を議決するなど、各種の対応を進めてきたところです。

このほかにも、市立病院の経営健全化をはじめ、防災・減災対策、公共施設の老朽化対策など、市が抱えるさまざまな課題に対しても、真摯に向き合い、常に市民の皆さまの声に耳を傾けながら、議会としての役割をしっかりと果たしてまいります。

これまで、議会では、議会の在り方や議会基本条例の理念を具現化するための検討を

重ね、議会改革に向けたさまざまな協議を進めてきました。一例を挙げますと、昨年からは、各常任委員会が異なる取り組みが必要と判断した課題について、計画・立案・実施・評価・見直しという一連の流れで取り組む政策形成サイクルを構築し、現在市長への政策提言に向けて取り組んでおります。

また、市民の皆さまにとつて身近に感じられる開かれた議会を目指し、より幅広く多くの皆さまと意見を交わすことができるよう、これまでの開催形式を見直し、今後は出張型の市民と議会の集いを実施することとしました。

新たな市民と議会の集いに

ご期待ください。

本年4月に、私ども議員は任期の最終年度を迎えます。

議員として、より一層の資質の向上に努め、皆さまからの負託に応えるべく、誠心誠意力を尽くしてまいりますので、変わらぬご支援とご協力ををお願い申します。

皆さまにとって、希望に満ちた幸多き年となりますよう、祈念申し上げます。

